第 20 次いわき市水道事業経営審議会第５回議事録

１　日　　時　令和８年８月 20 日（木）　午後１時 30 分～午後３時

２　場　　所　水道局３階　第１会議室

３　出 席 者

⑴　委員　　（出席：15 名）

石山伯夫、葛城博徳、上遠野恭子、金田晴美、河合伸、木村辰夫、木村千春、窪田忠仁、熊田哲也、小林正喜、齊藤千代子、鈴木玉江、原田正光、星隆之、柳澤晋

※50 音順・敬称略

⑵　事務局　　飯尾管理者、村上局長、本田次長、齋藤次長、盛総務課長、園部事業支援課長、富岡経営戦略課長、松田営業課長、岩間配水課長、深澤工務課長、門馬浄水課長、髙萩南部工事事務所長

○　経営戦略課

阿部主幹、木田補佐

［企画係］柳内係長、緑川専門技術員、木田主査、髙橋主査、小松主査

４　会議形式　非公開

５　傍 聴 者　０名

６　会議次第

⑴　開会

⑵　会長あいさつ

⑶　議事

ア　第５回会議の公開・非公開について

イ　第４回審議会の議事録（案）について

ウ　いわき市水道事業　事業評価（令和７年度）について

エ　答申書（案）について

オ　その他

⑷　その他

⑸　閉会

７　審議事項

⑴　第５回会議の公開・非公開について

事務局から、本日の審議内容は、９月 30 日に市長へ答申することとなる答申書案についてであり、取扱いに慎重を期すべき案件と考えられるため、会議を非公開としたい旨が提案され、了承された。

⑵　第４回審議会の議事録（案）について

第４回議事録が了承された。

⑶　いわき市水道事業　事業評価（令和７年度）について

資料６「いわき市水道事業　事業評価（令和７年度)」に基づき説明を行った。

○　委員から、「15 ページについて、右下の図にある矢印は、非常時における浄水場間でのバックアップを示すものか。そうであれば、泉浄水場や山玉浄水場などは２つの浄水場からバックアップされ、上野原浄水場などは１つからバックアップされるのか。」との質問があり、事務局から、「その通りである。」と回答した。

○　委員から、「17 ページについて、入札不調となった耐震診断は、令和８年度に行うのか、それとも令和９年度に行うのか。」との質問があり、事務局から、「令和８年度は別施設の耐震診断を計画しているため、令和９年度に実施する予定である。」と回答した。

○　委員から、「17 ページについて、入札不調の原因分析は行っているか。」との質問があり、事務局から、「対象施設に配水池が含まれており、構造や地盤、大量の水が及ぼす影響などを踏まえた高度な解析が必要となる案件であったため、金額的に折り合いがつかなかったものと考えている。」と回答した。

○　委員から、「18 ページについて、浸水対策として止水板や止水壁を設置しているが、他自治体で電気設備が通っているマンホールの止水対策がされていない事例があったため、そういった部分まで確認したほうがよい。」との意見があり、事務局から、「全て確認し、対策済である。」と回答した。

○　委員から、「30 ページの『№42 応急資器材の備蓄と適正管理』について、前年度から２年連続でＢ評価である理由はなにか。」との質問があり、事務局から、「本事業は、現在分散保管している応急資器材等をまとめて保管する倉庫の新設について、検討、整備を進めることを計画していたところである。倉庫の新設には、用地費を含め多額の費用を要することから、水道料金の改定を検討している中で整備費用を捻出できるか、また、倉庫を新設せずに既存施設のスペースで保管できないかということを継続して検討している状況にある。このため低い評価となったものである。今後は、なるべく早く方向性を整理したいと考えている。」と回答した。

○　委員から、「32 ページの実施事業に係る『評価結果一覧』では高評価が多いが、41 ページの業務指標に係る『評価結果一覧』では、特に『持続』において、一番評価の低いカテゴリⅣが多い。評価に整合性がないように見えかねないので、きちんとした説明が必要である。」との意見があり、事務局から、「『持続』の業務指標に係る評価結果でカテゴリⅣが多いのは、経営状況等が悪化していることによるものであり、誤解がないよう説明していく。」と回答した。

○　委員から、「38 ページの管路の更新率や施設の耐震化率について、いわき市は改善度が高く安心している。これを市民にも適切に情報発信してほしい。」との意見があり、事務局から、「事業の進捗状況を示す重要業務指標（KPI）により情報発信していく。」と回答した。

○　委員から、「40 ページの『アンケート情報収集割合』について、割合が高い要因はなにか。」との質問があり、事務局から、「各種イベントへ積極的に出展し、アンケートを実施したことによるものである。」と回答した。

○　委員から、「公表用資料７ページと８ページについて、文字が小さいので大きくした方がよい。」との意見があり、事務局から、「見やすいように修正する。」と回答した。

［まとめ］

○　会長から、次のとおり意見の総括案が示され、審議会として確認がなされた。

・　いわき水みらいビジョンに基づく各種事業のうち、９つの主要事業に係る実施事業評価については、令和６年度に完了した事業を除く８事業のうち、「Ａ評価」が６事業、「Ｂ評価」が２事業となり、Ｂ評価となった「老朽管更新事業」及び「水道施設耐震化事業」は、入札不調などにより工事の繰越や耐震診断委託の実施年度に変更が生じたものであるが、繰越した工事は令和８年度に完了する見込みであること、耐震診断委託は令和９年度に実施予定であることを確認した。

・　業務指標評価については、給水人口の減に伴う給水収益の減少や、物価高騰等による費用増加などにより、財務に関わる指標が悪化しているが、災害対策の指標は、主要事業の実施によっておおむね改善傾向にあることを確認した。

・　今後の事業展開にあたっては、今回の結果を反映させ、より効率的、かつ、効果的に事業を推進していくように望む。

⑷　答申書（案）について

資料７「答申書（案)」に基づき説明を行った。

○　委員から、「１ページの 17 行について、『特に』とあるが、事業全体が概ね計画どおりに進捗していることから、『このうち』としたほうがよい。」との意見があり、事務局から、「意見のとおり修正する。」と回答した。

○　委員から、「１ページの 29 行は『取組み』となっているが、ほかは『取組』となっているため、整合性を図ったほうがよい。」との意見があり、事務局から、「適切に修正する。」と回答した。

○　委員から、「２ページの 43 行について、『水道施設等の更新や災害対策』とあるが、様々なことを実施しているため、『水道施設の更新や災害対策等』としたほうがよい。」との意見があり、事務局から、「意見のとおり修正する。」と回答した。

○　委員から、「２ページの 60 行について、『平均改定率 17%よりも１ポイント上回る』という記載があるが、48 行で平均改定率 17%の引き上げが必要であることを明記しているため、記載がないほうが分かりやすい。」との意見があり、事務局から、「意見を踏まえて検討する。」と回答した。

○　委員から、「２ページの 61 行について、『一般用の水量料金の改定率を 16.6%とする。』とあるが、全ての段階の改定率が 16.6%だと誤解されるおそれがあることから、『一般用の水量料金の改定率を全体として 16.6%とする。』としたほうがよい。」との意見があり、事務局から、「意見のとおり修正する。」と回答した。

○　委員から、「２ページの 61 行、72 行、３ページの 83 行について、『行うこととする』とあるが、『行う』のは水道事業管理者のため、『妥当である』等の表現としたほうがよい。」との意見があり、事務局から、「意見を踏まえて修正する。」と回答した。

８　その他

○　会長から、「自分と事務局で答申書（案）を修正し、答申前に委員の皆様に送付させていただきたい。」と提案し、委員から了承された。

○　答申について

・　日時　　令和８年９月 30 日（水）午前 10 時 30 分から

・　出席者　原田会長、河合副会長

９　閉　　会